NIE実践報告

1．タイトル：**社会科テストにおける時事問題の出し方**

2．学校名

東京都杉並区立松溪中学校

3．実践者名（代表者名）

矢内　一弘

4．学年

第３学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　３年公民的分野　生徒数５９名

6．単元（本時の学習課題）名

公民的分野　現代社会の課題

7．目標(狙い)

現代社会の様々な問題を、新聞記事を通して自分自身で考え、そのあるべき姿や課題を自ら考えまとめて、発表する。

8．評価の視点

テスト問題として、１０~２０点分の出題で、各４観点について聞いてみる。関心･意欲、思考･判断の記述内容を採点する時は、自分の考えをいかに表現しているかで評価していく。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

各定期テストで、その時点で話題になっていること、現代社会の事象を知っておきたいという内容を新聞記事から選び出題する。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

○時事問題出題の意図と条件は、次のようなことである。

・ＮＩＥ実践校などで、新聞を見るチャンスが多い。　・３年生の公民授業で、現代社会の様子を話す機会が多い。　・生徒は日頃から新聞スクラップの発表で、新聞を読み理解する習慣をつけている。

○どんな新聞記事を選ぶか。

・不偏不党で、一方的な主張のものは取り上げない。→ 多面的・多角的な考えを身につけさせたい。

・今一番関心を持ってほしい新聞記事を選択する。→ 社会参画への意欲を積極的に育てていきたい。

・今やっている公民授業の内容に関連したもの、政治・経済記事も使いたい。→ 授業の内容を新聞の最新資料から確認させる。

・新聞の記事をていねいに読んだり、社会の動きに関心のある生徒なら、容易く解答できる出題をする。

○出題例　１学期中間　『原発推進トーンダウン（東京5/12）』期末『マイナス０．７%成長（毎日6/9）』

２学期中間　『リビア国造り多難（朝日9/19）』　期末『「一つの欧州」意地（東京11/5）』

３学期学年末『裁判員判決「尊重を」（朝日2/14）』

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・むずかしかったが、おもしろかった。読むのが楽しかった。　・自分の考えをしっかり書くのと、問題の意図をとらえるのが大変だった。　・他国のことも知っておくべきだと改めて思った。　・普段から新聞を読んで、社会への興味を持っていくことが大切と思った。

12．成果と課題

３年社会科の公民的分野の授業は現代社会と結びつけて考えさせる必要がある。それには新聞記事が最適である。テストの時事問題を通して初めて新聞をじっくり読み、こんな記事も新聞にはあるということを知るのも時事問題を出すねらいである。新聞を読むことを嫌いにさせるのではなく、興味関心を高めていきたい。

ＮＩＥ活動は、教師自らが授業の中に新聞記事を利用することで良いと思う。授業の意図に合った記事をどう選ぶかということが難しいが、日頃から社会にアンテナを張っておくことこそＮＩＥで一番大切なことだと思う。